

Ⅲ 人間生活学部で取得できる資格について

1 社会福祉士の資格取得について

人間生活学部人間生活学科において所定の科目を履修し単位を修得して卒業した者は、「社会福祉士」の受験資格（国家試験）が得られる。

(1) 社会福祉士受験資格（社会福祉士及び介護福祉士法第7条1号）は、大学において厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目を修めて卒業した者に与えられる。従って、この資格を得ようとする者は次の科目を履修し、単位を修得しなければならない。

(2) 社会福祉士受験資格取得に関する科目

〈2018年度入学生に適用〉

法に定める指定科目等の名称 科 目	左記に対応する本学の開設授業科目 授 業 科 目	単位数		備考
		必修	選択	
人体の構造と機能及び疾病	医学概論		2	
心理学理論と心理的支援	心理学		2	
社会理論と社会システム	社会学		2	
現代社会と福祉	社会福祉論	2		
	現代社会と福祉		2	
社会調査の基礎	社会福祉調査		2	
相談援助の基盤と専門職	ソーシャルワーク論Ⅰ		2	
	ソーシャルワーク論Ⅱ		2	
相談援助の理論と方法	ソーシャルワーク論Ⅲ		2	
	ソーシャルワーク論Ⅳ		2	
	ソーシャルワーク論Ⅴ		2	
	ソーシャルワーク論Ⅵ		2	
地域福祉の理論と方法	地域福祉の理論と方法Ⅰ		2	
	地域福祉の理論と方法Ⅱ		2	
福祉行財政と福祉計画	福祉行財政と福祉計画		2	
福祉サービスの組織と経営	社会福祉運営管理論		2	
社会保障	ライフステージと社会保障		2	
	社会保障論		2	
高齢者に対する支援と介護保険制度	高齢者福祉論		2	
	介護保険制度と高齢者支援		2	
	介護福祉論		1	
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	障害者福祉論		2	
児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	子どもと福祉		2	
	児童家庭福祉論		2	
低所得者に対する支援と生活保護制度	公的扶助論		2	
保健医療サービス	医療福祉論		2	
就労支援サービス	就労支援論		1	
権利擁護と成年後見制度	権利擁護と成年後見制度		2	
更生保護制度	更生保護論		1	
相談援助演習	ソーシャルワーク演習Ⅰ		4	
	ソーシャルワーク演習Ⅱ		4	
	ソーシャルワーク演習Ⅲ		2	
相談援助実習指導	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		1	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		1	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ		1	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅳ		1	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅴ		1	
相談援助実習	ソーシャルワーク実習Ⅰ		2	
	ソーシャルワーク実習Ⅱ		2	

〈2015～2017 年度入学生に適用〉

法に定める指定科目 科 目	左記に対応する本学の開設授業科目 授 業 科 目	単位数		備考
		必修	選択	
人体の構造と機能及び疾病	医学概論		2	
心理学理論と心理的支援	心理学		2	
社会理論と社会システム	社会学		2	
現代社会と福祉	社会福祉論Ⅰ	2		
	社会福祉論Ⅱ		2	
社会調査の基礎	社会福祉調査		2	
相談援助の基盤と専門職	ソーシャルワーク論Ⅰ		2	
	ソーシャルワーク論Ⅱ		2	
相談援助の理論と方法	ソーシャルワーク論Ⅲ		2	
	ソーシャルワーク論Ⅳ		2	
	ソーシャルワーク論Ⅴ		2	
	ソーシャルワーク論Ⅵ		2	
	地域福祉の理論と方法Ⅰ		2	
地域福祉の理論と方法	地域福祉の理論と方法Ⅱ		2	
	福祉行財政と福祉計画		2	
福祉サービスの組織と経営	社会福祉運営管理論		2	
社会保障	社会保障論Ⅰ		2	
	社会保障論Ⅱ		2	
高齢者に対する支援と介護保険制度	高齢者福祉論Ⅰ		2	
	高齢者福祉論Ⅱ		2	
	介護福祉論		2	
障害者に対する支援と自立支援制度	障害者福祉論		2	
児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	児童福祉論Ⅰ		2	
	児童福祉論Ⅱ		2	
低所得者に対する支援と生活保護制度	公的扶助論		2	
保健医療サービス	医療福祉論		2	
就労支援サービス	就労支援論		1	
権利擁護と成年後見制度	権利擁護と成年後見制度		2	
更生保護制度	更生保護論		1	
相談援助演習	ソーシャルワーク演習Ⅰ		2	
	ソーシャルワーク演習Ⅱ		4	
	ソーシャルワーク演習Ⅲ		4	
相談援助実習指導	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		4	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		4	
相談援助実習	ソーシャルワーク実習Ⅰ		2	
	ソーシャルワーク実習Ⅱ		2	

2 認定スクール（学校）ソーシャルワーク資格について

人間生活学部人間生活学科は、一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟より「スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程認定事業」の養成校として認定されている。

（1）本学科の社会福祉専修等において必要な単位を修得し、かつ、社会福祉士の国家資格を有する者は、日本ソーシャルワーク教育学校連盟に申請し、「スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程修了証」の交付を得ることができる。

(2) 認定スクール（学校）ソーシャルワーク資格取得に関する科目

〈2018 年度入学生に適用〉

スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程 規程による指定科目名	左記に対応する本学の開設授業科目	単位数	備考
スクール（学校）ソーシャルワーク論	スクールソーシャルワーク論	2	
スクール（学校）ソーシャルワーク演習	スクールソーシャルワーク演習	1	
スクール（学校）ソーシャルワーク実習指導	スクールソーシャルワーク実習指導	1	
スクール（学校）ソーシャルワーク実習	スクールソーシャルワーク実習	2	
教育の基礎理論に関する科目のうち、「教育に関する社会的、制度的または経営的事項」を含む科目（1 科目以上）	教育原理	2	
	教育制度論	2	
教育の基礎理論に関する科目のうち「幼児、児童及び生徒（障害のある幼児、児童及び生徒を含む）の心身の発達及び学習の過程に関する事項」を含む科目及び生徒指導、教育相談及び進路指導に関する科目（1 科目以上）	教育心理学Ⅰ	2	
	教育心理学Ⅱ	2	
精神保健の課題と支援	精神保健福祉論	2	
児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	子どもと福祉	2	
	児童家庭福祉論	2	
計		20	

3 社会調査士の資格取得について

人間生活学部人間生活学科において所定の科目を履修し単位を修得して卒業した者は、社会調査士の資格を得られる。

(1) 社会調査士は、大学において一般社団法人社会調査協会が指定する科目を修めて卒業した者に与えられる。従って、この資格を得ようとする者は次の科目を履修し、単位を修得しなければならない。

(2) 社会調査士資格取得に関する科目

〈2018 年度入学生に適用〉

社会調査協会が定める科目		左記に対応する本学の開設授業科目 (予定*)		単位数	備考
科目		授業科目	必修	選択 必修	
A	社会調査の基本的事項に関する科目	社会福祉調査	2		
B	調査設計と実施方法に関する科目	マーケティングリサーチ論	2		
C	基本的な資料とデータの分析に関する科目	統計調査と北海道	2		
D	社会調査に必要な統計学に関する科目	統計調査と心理	2		
E	多変量解析の方法に関する科目	アンケート調査の技法		2	EかFのいずれかを履修
F	質的な調査と分析の方法に関する科目	インタビュー調査の技法		2	
G	社会調査を実際に経験し学習する科目	課題発見フィールドワーク	2		両方の科目を修得してGを充足
		プロジェクトマネジメントⅠ	2		

*社会調査協会が定める科目に対応する授業科目は、社会調査協会の認定を毎年度受ける必要があるため、変更される場合がある。

4 栄養士・管理栄養士の資格取得について

栄 養 士 資 格

人間生活学部食物栄養学科は、平成4年4月1日、栄養士養成施設として厚生大臣の指定を受けており、本学科卒業のための科目単位を修得すると栄養士免許を申請することが出来、申請書を北海道知事に提出すると卒業時に免許証が交付される。

管理栄養士資格

本学科において管理栄養士として必要な科目単位を修得して卒業した場合、管理栄養士国家試験の受験資格が与えられる。

国家試験に合格したものは厚生労働省に備える管理栄養士名簿に登録を受けて、厚生労働大臣から管理栄養士免許証が交付される。

栄養士免許申請の手続き、管理栄養士国家試験並びに免許申請の手続きについては、4年次後期に指示される。

〈2015年度以降入学生に適用〉

2015年度以降入学生は、管理栄養士国家試験受験資格を得るためには、卒業要件必修科目のほかに、管理栄養士国家試験受験資格の必修科目11科目、選択必修科目3科目のうち2科目を選択しなければならない。

区 分	本学の開設授業科目 ☆印は管理栄養士国家試験受験資格の 必修科目（★印は選択必修科目）	授業形態	単位数		備 考
			必修	選択	
社会・環境と健康	☆食生活論	講 義	2		
	☆公衆衛生学A	講 義	2		
	☆公衆衛生学B	講 義	2		
	☆高齢者健康論	講 義		2	
人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	☆有機化学	講 義	2		
	☆生化学A	講 義	2		
	☆生化学B	講 義	2		
	☆解剖生理学A	講 義	2		
	☆解剖生理学B	講 義	2		
	☆解剖生理学実験	実 験	2		
	☆疾病医療学A	講 義	2		
	☆疾病医療学B	講 義	2		
	☆疾病医療学C	講 義	2		
食 べ 物 と 健 康	☆食品化学A	講 義		2	
	☆食品化学B	講 義	2		
	☆食品成分分析実験	実 験	2		
	☆食品加工学	講 義	2		

区 分	本学の開設授業科目 ☆印は管理栄養士国家試験受験資格の 必修科目（★印は選択必修科目）	授業形態	単位数		備 考
			必修	選択	
食 べ 物 と 健 康	☆食品学基礎実験	実 験	2		3 科目から 2 科目選択 必修
	☆食品機能論	講 義		2	
	☆調理科学	講 義	2		
	☆調理実習Ⅰ	実 習	2		
	☆調理実習Ⅱ	実 習	2		
	☆微生物学	講 義	2		
	☆食と安全論A	講 義	2		
	☆食と安全論B	講 義		2	
	☆食品衛生学実験	実 験	2		
基 礎 栄 養 学	☆基礎栄養学A	講 義	2		
	☆基礎栄養学B	講 義	2		
	☆栄養生化学実験	実 験	2		
	☆分子栄養学	講 義		2	
応 用 栄 養 学	☆応用栄養学A	講 義	2		
	☆応用栄養学B	講 義	2		
	☆応用栄養学実習	実 習	2		
	☆栄養管理論	講 義	2		
	☆栄養管理実習	実 習	2		
栄 養 教 育 論	☆栄養教育論Ⅰ	講 義	2		
	☆栄養教育論Ⅱ	講 義	2		
	☆栄養教育論実習	実 習	2		
	☆対人関係トレーニング	演 習	1		
	☆栄養カウンセリング論	講 義	2		
臨 床 栄 養 学	☆臨床栄養学A	講 義	2		
	☆臨床栄養学B	講 義	2		
臨 床 栄 養 学	☆臨床栄養学C	講 義	2		
	☆臨床栄養管理論	講 義		2	
	☆臨床栄養学実習Ⅰ	実 習	2		
	☆臨床栄養学実習Ⅱ	実 習		2	
公 衆 栄 養 学	☆公衆栄養学A	講 義	2		
	☆公衆栄養学B	講 義	2		
	☆地域栄養学実習	実 習		1	
給 食 経 営 管 理 論	☆給食経営管理論Ⅰ	講 義	2		
	☆給食経営管理論Ⅱ	講 義	2		
	☆給食経営管理実習Ⅰ	実 習	2		
総 合 演 習	☆総合演習A	演 習	1		
	☆総合演習B	演 習		1	
	☆管理栄養士演習Ⅰ	演 習		2	
	☆管理栄養士演習Ⅱ	演 習		2	
臨 地 実 習	★臨床栄養学実習Ⅲ	実 習		2	
	★公衆栄養学実習	実 習		2	
	★給食経営管理実習Ⅱ	実 習		2	
	計		88	26	

5 食品衛生監視員任用資格及び食品衛生管理者任用資格の取得について

人間生活学部食物栄養学科は、厚生労働大臣より食品衛生監視員及び食品衛生管理者養成施設に指定され、2005 年 4 月入学生から適用されている。

食品衛生監視員は、食中毒など食品衛生上の危害を防止するために、食品衛生法に基づいて営業施設等への立入検査や食品衛生に関する監視・指導を行う公務員で、任用されるには本資格が必要となる。すなわち、本資格を持っていると栄養関連業務の他に、国家公務員として検疫所で輸入食品の監視及び検査、さらに処分や輸入業者の指導をおこなったり、地方公務員として都道府県庁、市役所、保健所などに配置され食品関係営業施設などの監視や指導に当たることができる。

食品衛生管理者は、食品衛生法施行令で定められた業種（粉乳類、食肉製品、食用油脂などの製造又は加工）に配置することを義務づけられた、厚生労働省管轄の国家資格である。その業務は、それら業種の食品製造又は加工の過程において衛生管理を適正に行うため、食品衛生法に違反することがないように施設設備や食品の取扱い等の衛生管理を行い、作業従事者を教育・監督することである。

（注）任用資格とは、その職種に任用される資格を持つとみなされる資格のことをいう。公務員または民間の企業・施設などに採用された後、特定の業務に任用される時にその効力を発揮する。

また、編入学生の場合、「食品衛生監視員」および「食品衛生管理者」資格は、編入以前に卒業または在籍した大学等が『食品衛生監視員および食品衛生管理者の登録養成施設』でない場合、その大学等で修得した単位は、たとえ同じ科目名称、同じ教育内容であっても、厚生労働省の指導により、単位認定が認められないので取得できない。

〈2015 年度以降入学生に適用〉

学 科	科 目	本学の開設授業科目				単位数	
		科目分類		授 業 科 目	授業形態	必修	選択
化 学	分 析 化 学	専 門	a	はじめての化学	演 習		1
	有 機 化 学	専 門	a	有機化学	講 義	2	
	無 機 化 学	共 通	a	環境と化学	講 義		2
生物化学	生 物 化 学	専 門	b	生化学A	講 義	2	
		専 門	b	生化学B	講 義	2	
		専 門	b	栄養生化学実験	実 験	2	
	食 品 化 学	専 門	b	食品化学A	講 義		2
		専 門	b	食品化学B	講 義	2	
	生 理 学	専 門	b	解剖生理学A	講 義	2	
		専 門	b	解剖生理学B	講 義	2	
	食 品 分 析 学	専 門	b	食品成分分析実験	実 験	2	
	微 生 物 学	専 門	b	微生物学	講 義	2	
公 衆 衛 生 学	食 品 製 造 学	専 門	b	食品加工学	講 義	2	
		専 門	b	食品学基礎実験	実 験	2	
	公 衆 衛 生 学	専 門	b	公衆衛生学A	講 義	2	
		専 門	b	公衆衛生学B	講 義	2	
		専 門	b	食と安全論A	講 義	2	
そ の 他 関 連 科 目	食 品 衛 生 学	専 門	b	食と安全論B	講 義		2
		専 門	b	食品衛生学実験	実 験	2	
	環境汚染物質分析学	共 通	c	環境科学A	講 義		2
	病 理 学	専 門	c	疾病医療学A	講 義	2	
		専 門	c	疾病医療学B	講 義	2	
	血 清 学	専 門	c	疾病医療学C	講 義	2	
	食 品 理 化 学	専 門	c	食品機能論	講 義		2
	栄 養 化 学	専 門	c	基礎栄養学A	講 義	2	
		専 門	c	基礎栄養学B	講 義	2	
	栄 養 学	専 門	c	応用栄養学A	講 義	2	
		専 門	c	応用栄養学B	講 義	2	
		専 門	c	臨床栄養学A	講 義	2	
		専 門	c	臨床栄養学B	講 義	2	
		専 門	c	公衆栄養学A	講 義	2	
		専 門	c	公衆栄養学B	講 義	2	
		専 門	c	公衆栄養学B	講 義	2	

a、bの化学、生物化学、微生物学、公衆衛生学の各学科科目から1科目以上、合計で30単位以上修得すること。

cのその他の関連科目に関する科目から22単位以上修得すること。

6 フードスペシャリスト資格認定試験受験の資格取得について

人間生活学部食物栄養学科は、公益社団法人日本フードスペシャリスト協会よりフードスペシャリスト養成機関に認定され、本学科において、必要な科目単位を修得した場合、フードスペシャリスト資格認定試験受験の資格が与えられる。

〈2015 年度以降入学生に適用〉

科 目	本学の開設授業科目 ○印はフードスペシャリスト 受験資格の必修科目	授業形態	単位数	
			必修	選択
フードスペシャリスト論	○フードスペシャリスト論	講 義		2
食品の官能評価・鑑別論	○食品化学A	講 義		2
	○食品成分分析実験	実 験	2	
食 物 学	○食品加工学	講 義	2	
	○食品機能論	講 義		2
	○食品学基礎実験	実 験	2	
食品の安全性に関する科目	○食と安全論A	講 義	2	
	○食と安全論B	講 義		2
調 理 学 に 関 す る 科 目	○調理科学	講 義	2	
	○調理実習Ⅰ	実 習	2	
	○調理実習Ⅱ	実 習	2	
栄養と健康に関する科目	○応用栄養学B	講 義	2	
	○基礎栄養学B	講 義	2	
	○分子栄養学	講 義		2
食品流通・消費に関する科目	○食品流通経済論	講 義		2
フードコーディネイト論	○フードコーディネイト論	講 義		2
	計		18	14

フードスペシャリスト受験資格は、本学科必修科目のほかに、「フードスペシャリスト論」、「食品化学A」、「食品機能論」、「食と安全論B」、「分子栄養学」、「食品流通経済論」、「フードコーディネイト論」の7科目を履修する必要がある。

7 保育士資格の取得について

(1) 保育士資格に必要な修得単位

児童福祉法施行規則第6条の2第1項第3号の指定保育士養成施設の修業科目及び単位数並びに履修方法（厚生労働省告示）第4条（履修方法）により、以下に掲げる教科目及び単位数を履修すること。

〈2018年度入学生に適用〉

〈必修科目〉

保育士養成施設指定基準			本学での開設科目および履修単位			
系列	告示による教科目	履修 単位数	本学の開設授業科目	授業 形態	単位数	備 考
に 保 育 の 本 質 ・ 目 的 に 関 する 科 目	保育原理	2	保育原理	講義	2	
	教育原理	2	教育原理	講義	2	
	児童家庭福祉	2	子ども家庭福祉論Ⅰ	講義	2	
	社会福祉	2	社会福祉論	講義	2	
	相談援助	1	相談援助	演習	1	
	社会的養護	2	社会的養護	講義	2	
に 保 育 の 対 象 の 理 解 に 関 する 科 目	保育者論	2	保育者論	講義	2	
	保育の心理学Ⅰ	2	発達心理学Ⅰ	講義	2	
	保育の心理学Ⅱ	1	保育の心理学	演習	1	
	子どもの保健Ⅰ	4	子どもの保健Ⅰ	講義	2	
			子どもの保健Ⅱ	講義	2	
	子どもの保健Ⅱ	1	子どもの保健Ⅲ	演習	1	
	子どもの食と栄養	2	子どもの食と栄養	演習	2	
に 保 育 の 内 容 ・ 方 法 に 関 する 科 目	家庭支援論	2	家庭支援論	講義	2	
	保育課程論	2	教育・保育課程総論	講義	2	
	保育内容総論	1	保育内容総論	演習	1	
	保育内容演習	5	保育内容（環境と健康）	演習	2	
			保育内容（言葉と人間関係係）	演習	2	
			保育内容（表現）	演習	2	
	乳児保育	2	乳児保育	演習	2	
	障害児保育	2	障害児保育	演習	2	
	社会的養護内容	1	社会的養護内容	演習	1	
保育相談支援	1	保育相談支援	演習	1		
保 育 の 表 現 技 術	保育の表現技術	4	保育表現技術（音楽表現活動）	演習	1	
			幼児歌曲伴奏法	演習	1	
			器楽表現法	演習	1	
			保育表現技術（造形表現活動）	演習	1	
			保育表現技術（身体・音楽・造形・言語活動）	演習	1	
保 育 実 習	保育実習Ⅰ	4	保育実習Ⅰ（保育所）	実習	2	
			保育実習Ⅰ（福祉施設）	実習	2	
	保育実習指導Ⅰ	2	保育実習指導Ⅰ（保育所）	演習	1	
			保育実習指導Ⅰ（福祉施設）	演習	1	
総合演習	保育実践演習	2	保育・教職実践演習（幼）	演習	2	
教 養 科 目	体育（講義）	1	運動の科学	講義	2	
	体育（実技）	1	運動の実践 A	演習	1	
			運動の実践 B	演習	1	
修得必要単位数 合計		53	修得必要単位数 合計		57	

〈選択科目〉

保育士養成施設指定基準			本学での開設科目および履修単位					
系列	告示による教科目	履修 単位数	本学の開設授業科目	授業 形態	単位数	備 考		
保育の本質・目的に 関する科目		6 単位以上	キリスト教保育	講義	2	6 単位以上 選択必修		
			保幼小連携特論	講義	2			
			特別支援教育と福祉	講義	2			
			教育制度論	講義	2			
			カウンセリング論	講義	2			
			園経営論	講義	2			
教育相談特講	講義		2					
教育心理学Ⅰ	講義		2					
教育心理学Ⅱ	講義		2					
発達心理学Ⅱ	講義		2					
臨床心理学	講義		2					
精神保健	講義		2					
特別支援教育総論	講義		2					
知的障害児の心理・生理・病理	講義		2					
肢体不自由児の心理・生理・病理	講義		2					
視覚・聴覚障害児の心理・生理・病理	講義		1					
重複・発達障害児の心理・生理・病理	講義		2					
視覚・聴覚障害児教育総論	講義		1					
重複・発達障害児教育総論	講義		2					
臨床発達検査法	講義		2					
保育内容の研究（健康）	講義		2					
保育内容の研究（人間関係）	講義		2					
保育内容の研究（環境）	講義		2					
保育内容の研究（言葉）	講義		2					
総合表現	演習		1					
子ども文化論	講義		2					
児童文学	講義		2					
遊びと生活	講義		2					
保育の内容・方法に関する科目			ピアノ基礎演習	演習	1			
			器楽表現演習	演習	1			
			造形基礎演習	演習	1			
			造形技術演習	演習	1			
			造形表現法	演習	1			
			幼児体育 A	演習	1			
保育の表現技術	基礎技能Ⅱ		幼児体育 B	演習	1			
			乳幼児・障害児実習	実習	2			
			保育実習Ⅱ（保育所）	実習	2			
			保育実習Ⅱ（福祉施設）	実習	2			
			保育実習Ⅱ（児童館）	実習	2			
			保育実習Ⅱ（児童館）	実習	2			
保育実習	保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ		2	保育実習Ⅱ（保育所）	実習	2		
	保育実習Ⅱ（福祉施設）			実習	2			
	保育実習Ⅱ（児童館）			実習	2			
	保育実習Ⅱ（児童館）			実習	2			
	保育実習指導Ⅱ 保育実習指導Ⅲ		1	保育実習指導Ⅱ（保育所）	演習	1		
				保育実習指導Ⅱ（福祉施設）	演習	1		
保育実習指導Ⅱ（児童館）				演習	1			
教養科目	外国語、体育以外の 科目		6 単位 以上 以上	教養科目			6 単位以上 選択必修 （運動の実践 A・B、 海外語学研修 A・B・ C・D・E・F を除く）	
	外国語			外国語科目	演習			
最低修得単位数 合計			15	最低修得単位数 合計			15	

〈2017 年度入学生に適用〉

〈必修科目〉

保育士養成施設指定基準			本学での開設科目および履修単位			
系列	告示による教科目	履修 単位数	本学の開設授業科目	授業 形態	単位数	備 考
に 保 育 の 本 質 ・ 目 的 に 関 する 科 目	保育原理	2	保育原理	講義	2	
	教育原理	2	教育原理	講義	2	
	児童家庭福祉	2	子ども家庭福祉論Ⅰ	講義	2	
	社会福祉	2	社会福祉論	講義	2	
	相談援助	1	相談援助	演習	1	
	社会的養護	2	社会的養護	講義	2	
	保育者論	2	保育者論	講義	2	
に 保 育 の 対 象 の 理 解 に 関 する 科 目	保育の心理学Ⅰ	2	発達心理学Ⅰ	講義	2	
	保育の心理学Ⅱ	1	保育の心理学	演習	1	
	子どもの保健Ⅰ	4	子どもの保健Ⅰ	講義	2	
			子どもの保健Ⅱ	講義	2	
	子どもの保健Ⅱ	1	子どもの保健Ⅲ	演習	1	
	子どもの食と栄養	2	子どもの食と栄養	演習	2	
	家庭支援論	2	家庭支援論	講義	2	
関 保 育 の 内 容 ・ 方 法 に 関 する 科 目	保育課程論	2	教育・保育課程総論	講義	2	
	保育内容総論	1	保育内容総論	演習	1	
	保育内容演習	5	保育内容（環境と健康）	演習	2	
			保育内容（言葉と人間関係）	演習	2	
			保育内容（音楽表現）	演習	2	
			保育内容（造形表現）	演習	2	
	乳児保育	2	乳児保育	演習	2	
	障がい児保育	2	障害児保育	演習	2	
	社会的養護内容	1	社会的養護内容	演習	1	
	保育相談支援	1	保育相談支援	演習	1	
表 保 育 の 表 現 技 術	保育の表現技術	4	保育表現技術（音楽表現活動）	演習	1	
	幼児歌曲伴奏法		演習	1		
	器楽表現法		演習	1		
	保育表現技術（造形表現活動）		演習	1		
	保育表現技術（身体・音楽・造形・言語活動）		演習	1		
保 保 育 実 習	保育実習Ⅰ	4	保育所実習Ⅰ	実習	2	
	福祉施設実習Ⅰ		実習	2		
	保育実習指導Ⅰ	2	福祉施設実習指導Ⅰ	演習	1	
			保育所実習指導Ⅰ	演習	1	
総合演習	保育実践演習	2	保育・教職実践演習（幼）	演習	2	
教 保 養 科 目	体育（講義）	1	運動の科学	講義	2	
	体育（実技）	1	運動の実践A	演習	1	
			運動の実践B	演習	1	
修得必要単位数 合計		53	修得必要単位数 合計		59	

〈選択科目〉

保育士養成施設指定基準			本学での開設科目および履修単位			
系列	告示による教科目	履修 単位数	本学の開設授業科目	授業 形態	単位数	備 考
保育の本質・目 に関する科目		6 単位 以上	子ども家庭福祉論Ⅱ（障害児）	講義	2	6 単位以上 選択必修
			教育制度論	講義	2	
			カウンセリング論	講義	2	
			キリスト教保育	講義	2	
			園経営論	講義	2	
			教育相談特講	講義	2	
			障害児教育総論	講義	2	
			教育心理学Ⅰ	講義	2	
			教育心理学Ⅱ	講義	2	
			発達心理学Ⅱ	講義	2	
			肢体不自由児の心理・生理・病理	講義	2	
			重複・発達障害児の心理・生理・病理	講義	2	
			重複・発達障害児教育総論	講義	2	
			障害児臨床心理学	講義	2	
			知的障害児の心理・生理・病理	講義	2	
			臨床心理学	講義	2	
			生活経営論	講義	2	
			視覚・聴覚障害児の心理・生理・病理	講義	1	
			視覚・聴覚障害児教育総論	講義	1	
			臨床発達検査法	講義	2	
			精神保健	講義	2	
			保育内容の研究（健康）	講義	2	
			保育内容の研究（人間関係）	講義	2	
			保育内容の研究（環境）	講義	2	
			保育内容の研究（言葉）	講義	2	
			総合表現	演習	1	
			子ども文化論	講義	2	
			子どもと表現	講義	2	
			遊びと生活	講義	2	
			児童文学	講義	2	
			ピアノ基礎演習	演習	1	
			器楽表現演習	演習	1	
			造形基礎演習	演習	1	
			造形技術演習	演習	1	
			造形表現法	演習	1	
			幼児体育A	演習	1	
			幼児体育B	演習	1	
			乳幼児・障害児実習	実習	2	※必修
			保育所実習Ⅱ	実習	2	
			福祉施設実習Ⅱ	実習	2	※必修
			福祉施設実習指導Ⅱ	演習	1	
			保育所実習指導Ⅱ	演習	1	
			共通科目			6 単位以上 選択必修 （運動の実践A・B、 海外語学研修A・ B・Cを除く）
			外国語科目	演習		
最低修得単位数 合計		15	最低修得単位数 合計		15	

※本学では「保育所実習Ⅱ」「保育所実習指導Ⅱ」の単位を必修としている。（保育所実習Ⅱは保育所実習Ⅰと同学年に行う。）

〈2016 年度入学生に適用〉

〈必修科目〉

保育士養成施設指定基準			本学での開設科目および履修単位			
系列	告示による教科目	履修 単位数	本学の開設授業科目	授業 形態	単位数	備 考
に 保 育 の 本 質 ・ 目 的 に 関 する 科 目	保育原理	2	保育原理	講義	2	
	教育原理	2	教育原理	講義	2	
	児童家庭福祉	2	子ども家庭福祉論Ⅰ	講義	2	
	社会福祉	2	社会福祉論	講義	2	
	相談援助	1	相談援助	演習	1	
	社会的養護	2	社会的養護	講義	2	
	保育者論	2	保育者論	講義	2	
に 保 育 の 対 象 の 理 解 に 関 する 科 目	保育の心理学Ⅰ	2	発達心理学Ⅰ	講義	2	
	保育の心理学Ⅱ	1	保育の心理学	演習	1	
	子どもの保健Ⅰ	4	子どもの保健Ⅰ	講義	2	
			子どもの保健Ⅱ	講義	2	
	子どもの保健Ⅱ	1	子どもの保健Ⅲ	演習	1	
	子どもの食と栄養	2	子どもの食と栄養	演習	2	
	家庭支援論	2	家庭支援論	講義	2	
関 保 育 の 内 容 ・ 方 法 に 関 する 科 目	保育課程論	2	教育・保育課程総論	講義	2	
	保育内容総論	1	保育内容総論	演習	1	
	保育内容演習	5	保育内容（環境と健康）	演習	2	
			保育内容（言葉と人間関係）	演習	2	
			保育内容（音楽表現）	演習	2	
			保育内容（造形表現）	演習	2	
	乳児保育	2	乳児保育	演習	2	
	障がい児保育	2	障害児保育	演習	2	
	社会的養護内容	1	社会的養護内容	演習	1	
	保育相談支援	1	保育相談支援	演習	1	
表 保 育 の 表 現 技 術	保育の表現技術	4	保育表現技術（音楽表現活動）	演習	1	
	幼児歌曲伴奏法		演習	1		
	器楽表現法		演習	1		
	保育表現技術（造形表現活動）		演習	1		
	保育表現技術（身体・音楽・造形・言語活動）		演習	1		
保 育 実 習	保育実習Ⅰ	4	保育所実習Ⅰ	実習	2	
	福祉施設実習Ⅰ		実習	2		
	保育実習指導Ⅰ	2	福祉施設実習指導Ⅰ	演習	1	
			保育所実習指導Ⅰ	演習	1	
総合演習	保育実践演習	2	保育・教職実践演習（幼）	演習	2	
教 養 科 目	体育（講義）	1	運動の科学	講義	2	
	体育（実技）	1	運動の実践A	演習	1	
			運動の実践B	演習	1	
修得必要単位数 合計		53	修得必要単位数 合計		59	

〈選択科目〉

保育士養成施設指定基準			本学での開設科目および履修単位					
系列	告示による教科目	履修 単位数	本学の開設授業科目	授業 形態	単位数	備 考		
保育の本質・目的に関する科目		6 単位以上	子ども家庭福祉論Ⅱ（障害児）	講義	2	6 単位以上 選択必修		
			教育制度論	講義	2			
			カウンセリング論	講義	2			
			キリスト教保育	講義	2			
			園経営論	講義	2			
			教育相談特講	講義	2			
保育の対象の理解に関する科目			障害児教育総論	講義	2			
			教育心理学Ⅰ	講義	2			
			教育心理学Ⅱ	講義	2			
			発達心理学Ⅱ	講義	2			
			肢体不自由児の心理・生理・病理	講義	2			
			重複・発達障害児の心理・生理・病理	講義	2			
			重複・発達障害児教育総論	講義	2			
			障害児臨床心理学	講義	2			
			知的障害児の心理・生理・病理	講義	2			
			臨床心理学	講義	2			
			生活経営論	講義	2			
			視覚・聴覚障害児の心理・生理・病理	講義	1			
			視覚・聴覚障害児教育総論	講義	1			
			臨床発達検査法	講義	2			
			精神保健	講義	2			
			保育の内容・方法に関する科目		保育内容の研究（健康）		講義	2
					保育内容の研究（人間関係）		講義	2
					保育内容の研究（環境）		講義	2
保育内容の研究（言葉）	講義	2						
総合表現	演習	1						
子ども文化論	講義	2						
絵本論	講義	2						
子どもと表現	講義	2						
遊びと生活	講義	2						
児童文学	講義	2						
保育の表現技術	基礎技能Ⅱ	ピアノ基礎演習			演習	1		
		器楽表現演習			演習	1		
		造形基礎演習	演習	1				
		造形技術演習	演習	1				
		造形表現法	演習	1				
		幼児体育A	演習	1				
		幼児体育B	演習	1				
		保育実習	保育実習Ⅱ	2	乳幼児・障害児実習	実習	2	※必修
保育所実習Ⅱ	実習				2			
保育実習Ⅲ	1		福祉施設実習Ⅱ	実習	2			
保育実習指導Ⅱ			演習	1	※必修			
保育実習指導Ⅲ			演習	1				
教養科目	外国語、体育以外の科目	4 単位以上	共通科目			6 単位以上 選択必修 （運動の実践A・B、 海外語学研修A・ B・Cを除く）		
	外国語		外国語科目	演習				
最低修得単位数 合計		13	最低修得単位数 合計		13			

※本学では「保育所実習Ⅱ」「保育所実習指導Ⅱ」の単位を必修としている。（保育所実習Ⅱは保育所実習Ⅰと同学年に行う。）

〈2015 年度入学生に適用〉

〈必修科目〉

保育士養成施設指定基準			本学での開設科目および履修単位			
系列	告示による教科目	履修 単位数	本学の開設授業科目	授業 形態	単位数	備 考
に 保 育 の 本 質・目的 に関する科目	保育原理	2	保育原理	講義	2	
	教育原理	2	教育原理Ⅰ	講義	2	
	児童家庭福祉	2	子ども家庭福祉論Ⅰ	講義	2	
	社会福祉	2	社会福祉論Ⅰ	講義	2	
	相談援助	1	相談援助	演習	1	
	社会的養護	2	社会的養護	講義	2	
	保育者論	2	保育者論	講義	2	
に 保 育 の 対象の理解 に関する科目	保育の心理学Ⅰ	2	発達心理学Ⅰ	講義	2	
	保育の心理学Ⅱ	1	保育の心理学	演習	1	
	子どもの保健Ⅰ	4	子どもの保健Ⅰ	講義	2	
			子どもの保健Ⅱ	講義	2	
	子どもの保健Ⅱ	1	子どもの保健Ⅲ	演習	1	
	子どもの食と栄養	2	子どもの食と栄養	演習	2	
	家庭支援論	2	家庭支援論	講義	2	
保 育 の 内 容 ・ 方 法 に 関 する 科 目	保育課程論	2	教育・保育課程総論	講義	2	
	保育内容総論	1	保育内容総論	演習	1	
	保育内容演習	5	保育内容（環境と健康）	演習	2	
			保育内容（言葉と人間関係）	演習	2	
			保育内容（音楽表現）	演習	2	
			保育内容（造形表現）	演習	2	
	乳児保育	2	乳児保育Ⅰ	演習	1	
			乳児保育Ⅱ	演習	1	
	障がい児保育	2	障害児保育Ⅰ	演習	1	
			障害児保育Ⅱ	演習	1	
社会的養護内容	1	社会的養護内容	演習	1		
保育相談支援	1	保育相談支援	演習	1		
表 現 技 術	保育の表現技術	4	保育表現技術（音楽表現活動）	演習	1	
			幼児歌曲伴奏法	演習	1	
			器楽表現法	演習	1	
			保育表現技術（造形表現活動）	演習	1	
			保育表現技術（身体・音楽・造形・言語活動）	演習	1	
保 育 実 習	保育実習Ⅰ	4	保育所実習Ⅰ	実習	2	
			福祉施設実習Ⅰ	実習	2	
	保育実習指導Ⅰ	2	福祉施設実習指導Ⅰ	演習	1	
			保育所実習指導Ⅰ	演習	1	
総合演習	保育実践演習	2	保育・教職実践演習（幼）	演習	2	
教 養 科 目	体育（講義）	1	運動の科学	講義	2	
	体育（実技）	1	運動の実践A	演習	1	
			運動の実践B	演習	1	
修得必要単位数 合計		53	修得必要単位数 合計		59	

〈選択科目〉

保育士養成施設指定基準			本学での開設科目および履修単位				
系列	告示による教科目	履修 単位数	本学の開設授業科目	授業 形態	単位数	備 考	
関する保育の本質・目的に		6 単位 以上	社会福祉論Ⅱ	講義	2	6 単位以上 選択必修	
			子ども家庭福祉論Ⅱ（障害児）	講義	2		
			教育制度論	講義	2		
			教育原理Ⅱ	講義	2		
			カウンセリング論	講義	2		
			キリスト教保育	講義	2		
			園経営論	講義	2		
			教育相談特講	講義	2		
保育の対象の理解に関する科目			障害児教育総論	講義	2		
			教育心理学Ⅰ	講義	2		
			教育心理学Ⅱ	講義	2		
			発達心理学Ⅱ	講義	2		
			肢体不自由児の心理・生理・病理	講義	2		
			重複・発達障害児の心理・生理・病理	講義	2		
			重複・発達障害児教育総論	講義	2		
			障害児臨床心理学	講義	2		
			知的障害児の心理・生理・病理	講義	2		
			臨床心理学	講義	2		
			生活経営論	講義	2		
			視覚・聴覚障害児の心理・生理・病理	講義	1		
			視覚・聴覚障害児教育総論	講義	1		
			臨床発達検査法	講義	2		
			精神保健	講義	2		
関する保育の内容・方法に			保育内容の研究（健康）	講義	2		
			保育内容の研究（人間関係）	講義	2		
			保育内容の研究（環境）	講義	2		
			保育内容の研究（言葉）	講義	2		
			総合表現	演習	1		
			子ども文化論	講義	2		
			絵本論	講義	2		
			子どもと表現	講義	2		
			遊びと生活	講義	2		
			児童文学	講義	2		
保育の表現技術	基礎技能Ⅱ		ピアノ基礎演習	演習	1		
			器楽表現演習	演習	1		
			造形基礎演習	演習	1		
			造形技術演習	演習	1		
			造形表現法	演習	1		
			幼児体育A	演習	1		
			幼児体育B	演習	1		
保育実習	保育実習Ⅱ	2	乳幼児・障害児実習	実習	2		
	保育所実習Ⅱ		実習	2			
	保育実習Ⅲ	1	福祉施設実習Ⅱ	実習	2		
	保育実習指導Ⅱ		福祉施設実習指導Ⅱ	演習	1		
	保育実習指導Ⅲ		保育所実習指導Ⅱ	演習	1		
教養科目	外国語、体育以外の科目	4 単位 以上	共通科目			6 単位以上 選択必修 （運動の実践A・B、 海外語学研修A・ B・Cを除く）	
	外国語		外国語科目	演習			
最低修得単位数 合計		13	最低修得単位数 合計		13		

※本学では「保育所実習Ⅱ」「保育所実習指導Ⅱ」の単位を必修としている。（保育所実習Ⅱは保育所実習Ⅰと同学年に行う。）

(2) 保育士資格取得のための実習について

保育士資格を取得するには保育所ならびに福祉施設などでの実習が必要である。資格取得のために必要な実習とその単位数は以下のとおりである。

〈2018 年度入学生に適用〉

「保育実習Ⅰ（保育所）」（2 単位）、「保育実習Ⅰ（福祉施設）」（2 単位）を履修した上で、「保育実習Ⅱ（保育所）」（2 単位）、「保育実習Ⅱ（福祉施設）」（2 単位）、「保育実習Ⅱ（児童館）」（2 単位）のうち、いずれかの 2 単位を履修すること。

〈2015～2017 年度入学生に適用〉

「保育所実習Ⅰ」（2 単位）、「保育所実習Ⅱ」（2 単位）、「福祉施設実習Ⅰ」（2 単位）を履修すること。

●実習期間について

〈2018 年度入学生に適用〉

保育実習Ⅰ（保育所）…… 3 年次、10 日間

保育実習Ⅰ（福祉施設）…… 3 年次、10 日間

保育実習Ⅱ（保育所）…… 4 年次、10 日間

保育実習Ⅱ（福祉施設）…… 4 年次、10 日間

保育実習Ⅱ（児童館）…… 4 年次、10 日間

いずれかひとつを選択

〈2015～2017 年度入学生に適用〉

保育所実習Ⅰ…… 4 年次、10 日間

保育所実習Ⅱ…… 4 年次、10 日間

福祉施設実習Ⅰ…… 3 年次、10 日間

福祉施設実習Ⅱ…… 4 年次、10 日間（選択）

●実習の手続き

〈2018 年度入学生に適用〉

各学年、年度当初に履修届を提出すること。履修届を提出できるのは、各実習の前学年前期までに開講されている学科専門科目のうち、保育士資格にかかわる必須科目の未履修・不合格が 2 科目以内である者とする。「保育実習Ⅱ」の履修届に関しては、「保育実習Ⅰ（保育所）」ならびに「保育実習Ⅰ（福祉施設）」を修得済みであること。

〈2016・2017 年度入学生に適用〉

各学年、年度当初に履修届を提出すること。なお、履修届を提出できるのは、各実習の前学年前期までに開講されている学科専門科目のうち、保育士資格取得にかかわる必修科目の未履修・不合格が 2 科目以内である者とする。

〈2015 年度入学生に適用〉

各学年、年度当初に履修届を提出すること。

●実習費用について

保育所実習Ⅰ・Ⅱ……20,000 円

福祉施設実習Ⅰ……15,000 円

福祉施設実習Ⅱ……14,000 円

※本学では上記実習の前に乳幼児・障害児実習（幼稚園・保育園にて 2 年次年間を通じて金曜日）を行っています。詳細はオリエンテーション時に説明します。

8 児童厚生 1 級指導員資格について

(1) 児童厚生 1 級指導員資格に必要な修得単位

人間生活学部保育学科は、児童健全育成推進財団より児童厚生員養成校に認定され、本学科において必要な科目単位を修得し、同時に保育士資格を得た場合、児童厚生 1 級指導員資格を得ることができる。この資格を得ようとする者は、次の科目を履修し、単位を取得しなければならない。

〈2018 年度以降入学生に適用〉

指定科目名	左記に対応する本学の開設授業科目	単位数	備考
児童館・放課後児童クラブの機能と運営	児童館・放課後児童クラブの機能と運営	2	
児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法Ⅰ	児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法Ⅰ	2	
児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法Ⅱ	児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法Ⅱ	2	
児童館実習Ⅰ	児童館実習	2	
	児童館実習指導	1	
児童館実習Ⅱ	保育実習Ⅱ（児童館）	2	
	保育実習指導Ⅱ（児童館）	1	
計		12	

(2) 児童厚生 1 級指導員資格取得のための実習について

児童厚生 1 級指導員資格を取得するためには、児童館実習ⅠならびにⅡを履修しなくてはならない。本学においては、「児童館実習」（2 単位）と「保育実習Ⅱ（児童館）」（2 単位）を必修とする。なお、児童厚生 1 級指導員資格は、保育士資格を基礎資格とするため、「保育実習Ⅰ（保育所）」、「保育実習Ⅰ（福祉施設）」も履修しなくてはならない。

●実習期間について

児童館実習……2 年次、10 日間

保育実習Ⅱ（児童館）……4 年次、10 日間

●実習の手続き

各学年、年度当初に履修届を提出すること。なお、履修届を提出できるのは、「児童館実習」については、1年次に開講されている学科専門科目のうち、保育士資格にかかわる必修科目の未履修・不合格が2科目以内である者とする。また、「保育実習Ⅱ（児童館）」については、「児童館・放課後児童クラブの機能と運営」「児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法Ⅰ」「児童館実習」「児童館実習指導」「保育実習Ⅰ（保育所）」「保育実習Ⅰ（福祉施設）」を修得済みの者とする。

9 社会福祉主事任用資格について

社会福祉主事とは、社会福祉法に定められた任用資格である。社会福祉主事とは、社会福祉六法（生活保護、児童福祉、母子及び父子並びに寡婦福祉、老人福祉、身体障害者福祉、知的障害者福祉）に定める援護、育成または更生などの指導、助言を地域住民に対して行う社会福祉の専門職である。この資格は、任用資格で福祉事務所や児童相談所等の指導主事（職員）などの基礎的な資格になっている。また、この他社会福祉協議会の福祉活動専門員、老人福祉施設等の生活指導員、児童福祉施設の児童指導員は、この資格を取得することが望ましいとされている。

(1) 資格のとり方

大学等で社会福祉主事取得の指定科目を3科目以上修めて卒業したもの。

指定科目として下記の科目があります。

社会福祉概論、社会福祉事業史、社会福祉援助技術論、社会福祉調査論、社会福祉施設経営論、社会福祉行政論、社会保障論、公的扶助論、児童福祉論、家庭福祉論、保育理論、身体障害者福祉論、知的障害者福祉論、精神障害者保健福祉論、老人福祉論、医療社会事業論、地域福祉論、法学、民法、行政法、経済学、社会政策、経済政策、心理学、社会学、教育学、倫理学、公衆衛生学、医学一般、リハビリテーション論、看護学、介護概論、栄養学、家政学

(2) 資格証明書について

「成績証明書」が資格証明となります。